

ゴールドマン・サックス環境ポリシー枠組み

ゴールドマン・サックスは、健全な環境が社会全体にとって、また当社の社員および業務の安定に必要であり、持続可能で強靱な経済の基盤になると考えます。

ゴールドマン・サックスは、多様かつ健全な天然資源（淡水、海洋、大気、森林、草原、および農耕地）が、社会全体や持続可能な経済の発展にとって欠かせない要素であると認識しています。中でも森林は、環境や生物学的多様性において重要です。森林は、水や空気の質にとって必要不可欠なものであり、気候をも左右します。また森林は、何千種類もの野生生物種の棲家であると同時に、木材の自然源でもあります。社会が抱える重大な課題は、重要な生態系の機能を損なうこと無く、土地、土壌、および植物に対する人間の相競合する要求に対処することです。

当社は、環境を保護管理する責任を真剣に受け止めており、世界有数の金融機関として、環境が直面している数々の課題への対応に資する建設的役割を担うべきであると考えています。そのために、当社の人材、資本、アイデアを使って、気候変動、生態系の退行やその他の重要な環境問題に対応する、市場性に基づく有効な解決策を見出す助けとなるよう取り組み、さらに、環境のためになる新しいビジネスチャンスの創出を求めています。当社は、経済発展が貧困救済に貢献する上で重要であることを認識する一方で、環境問題に対する実質的解決策を提供する、創造的で有意義な施策を明確にするよう務めます。当社はこれらの目的を追求する上で、当社の株主に対する長期的価値を創出し、当社の顧客の長期的利益に寄与するという主要な経営目標から逸脱することのないようにします。

気候変動

ゴールドマン・サックスは、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が主唱する科学的コンセンサス、すなわち、気候変動は現実のものであり、地球の大気中の温室効果ガスの濃度上昇は主に人間の活動に原因があるという事を認めています。当社は、気候変動が21世紀の環境に対する最重要課題のひとつであり、経済の成長・発展や、貧困救済、上水の確保、十分なエネルギー供給などその他の重大な課題とリンクしていると考えます。各国政府と社会が、気候変動に対してどういった対応方法を探るかが、現在および将来の各世代での生活のあり方を大きく変えてしまうほどの影響を及ぼすといえましょう。ゴールドマン・サックスは、我々の自然環境、人類および経済に対して気候変動がもたらす脅威について大きな懸念を抱いており、温室効果ガスの排出を抑制するため、各国政府、実業界、消費者、および市民社会は直ちにそのことに目を向け、措置を取ることが求められていると考えます。

グローバルな企業として、当社が購入する商品、当社がファイナンスを提供する製造業および生産業のみならず、当社が行う投資を通して、当社は環境に対し影響を与えていると認識しています。当社は、資本の提供者と利用者をつなげる企業として、今日の環境上の課題に対応する機会を創出する上で、資本市場が、重要な役割を果たす事ができ、また果たすべきであると考えます。市場では特に、資本の配分のほか、財とサービスに対する適正価格の決定が効率的に行われます。この点に関し、政府が各市場を支援する方法として、温室効果ガス排出量削減に対する長期的価値を生み出し、低炭素経済につながる新技術の開発を一貫して支援・奨励するような強力な政策の枠組みを設定することが挙げられます。各国政府と連携を図ることによ

り、民間部門はこれらの市場をさらに発展させる牽引力となり、さらなる価格の透明性を実現し、革新に向けたインセンティブを創出し、さらに、費用対効果に優れた代替手段を見出すことが可能になります。このことについて、当社は、以下の原則により公共ポリシーの策定を導くべきであると考えます。

- ポリシーおよび措置は、確実に科学および合理的な経済学に基づくものとする。
- ポリシーの枠組みは、市場本位のメカニズムを基礎とし、明確で、透明性があり、一貫した価格のシグナルを設定する。
- 自主的措置だけでは、気候変動の問題を解決することはできない。
- ポリシーによって、包括的解決策の重要な一部として、省エネルギーと効率的エネルギー活用を奨励する。
- 解決策はグローバルな範囲で適用しなければならない。
- 気候変動は、生態系の保護、水の確保、貧困救済、および経済成長といったその他の主要な課題に関連付けて考察する。
- ポリシーの実行に際し、潜在的諸問題を解消するのに最も効果がある部分を見極めるため、統合的アプローチが求められる。

当社の業務と環境

当社の主要な各業務分野は、このポリシーを当社の業務に組み込む上で重要な役割を担っています。例えば、当社の各種投資業務は、再生可能エネルギーに対する投資機会を見つける上で先導的役割を担います。マーケット・メーカーとして、当社は、引き続き環境に配慮した商品・サービスに向けたより効率的な市場を生み出し、これらの市場に積極的なマーケット・メーカーかつ流動性提供者として参加する機会を模索します。リサーチ部門は、個別企業やセクターに関して、環境上のリスクだけでなく、そのようなリスクの緩和に関連したビジネスチャンスによる影響も測定を継続します。金融アドバイザーにおいては、環境上の影響や能力をよりよく理解する事により、顧客にとっていっそう効果的なアドバイザーやパートナーとなることができます。最後に、当社がティエラ・デル・フェゴと野生生物保護協会とのパートナーシップに関して行ってきたように、適切な場合において、特に危険に晒されている非常に脆弱な状態にある生態系や保護地区の価値を維持するための保護努力を引き続き支援します。

業務に対する直接的な影響：ゴールドマン・サックスは、効果的な環境ポリシーは、当社の業務そのものの環境への影響を最小化することに注力することから始める必要があると認識しています。このため、当社の施設や業務が、最先端の環境保全策を採用するよう努めます。当社は、業務による環境への影響を明らかにし、可能な限り、これらの影響を低減させます。温室効果ガス排出や電気の使用を含め、当社は様々な要因を報告する予定です。

- ・ 当社は、賃貸・自社保有の拠点において当社の間接的温室効果ガス排出を、2005年を基準として2012年までに7%削減することを計画しています。
- ・ 当社は、再生済みの、また環境面での認証を受けた木材、紙、および印刷など各種製品の利用を拡大し、エネルギー効率の良い機器を使用するほか、有機的かつ持続可能な方法で収穫した商品や供給品を購入します。
- ・ 当社は、輸送に関連する環境への影響を緩和するため、可能な場合にはより多くの製品を現地において購入します。
- ・ 当社は、LEED（The Leadership in Energy and Environmental Design）のゴールド認証、またはその他の包括的な建築基準を最終的目標として、当社の設備の施工および大規模な改装で使用するグリーンビルディング統一基準を策定します。
- ・ 当社は、環境面で健全な調達方法を開発し、納入業者の選定および評価プロセスに環境基準を組み入れます。
- ・ ゴールドマン・サックスは、米国において発電所を運営する企業である Cogentrix 社を所有しています。当社は、同社の発電所による温室効果ガス年間排出量を報告し、可能な場合には引き続き直接的な炭素排出量を削減するために取り組みます。当社は、温室効果ガス排出量を規制する国策の必要性を支持しており、経済的に実現可能であれば、革新的技術の実証試験サイトとして、当社の発電所を提供します。当社は、引き続き、排出量削減の機会を分析し、また潜在的な効果相殺の可能性について考察します。

マーケット・メイキングと投資： ゴールドマン・サックスの中核業務には、市場機会の発掘、

有効な市場構造の創出、流動性の提供、および資本投資があります。当社は、市場に基づく解決策によって、気候変動と、維持可能な森林や生態系に関するサービスに対し、大規模かつ積極的に貢献していくことが可能であると考えます。例えば、ゴールドマン・サックスは、以下に説明するような各環境市場において、マーケット・メーカーや投資機会を積極的に追求します。

- 当社は今後も、排出権取引（CO₂、SO₂）、天候デリバティブ、グリーン証書取引、およびその他天候関連コモディティなどのマーケット・メーカーとして行動し、これらの市場の発展を促進する上で建設的な役割を担う方法を追求します。
- ゴールドマン・サックスは、当社が最近買収した子会社である、「Horizon Wind Energy 社」（元 Zilkha Renewable Energy 社）を通じ、米国の主要な風力エネルギー開発・発電会社となることを意図しています。
- 当社は、再生可能エネルギーおよびエネルギー効率化プロジェクトに対し、最大10億ドルを拠出する用意があります。
- 当社は、様々な機会に対する評価を行い、適切な場合は、水、生物学的多様性、森林管理、森林に根付いた生態系、およびその他の生態系にかかわる機能およびサービスに向けた各種市場の展開を奨励しこれらに参加します。
- 当社は、引き続き再生可能エネルギーに対する投資構造を考案し、「Shell Wind Energy 社」との風力エネルギー・パートナーシップや、「BP Solar 社」と共同で実施する当社の太陽エネルギーファンドのように、当社のエネルギー関連顧客とともに投資を行います。
- 当社は、再生可能ディーゼル（「Changing World Technologies 社」に対する当社の投資など）、エタノール、およびバイオマスなどの再生可能で、よりクリーンに燃焼する代替燃料に対する投資機会を追求します。
- 当社は、その他の環境に配慮した技術に投資を行い、これらの発展と実用化に役立つ金融構造の創出を追求します。

リサーチ：ゴールドマン・サックスは、各企業のファンダメンタル分析において、環境、社会性および企業統治の評価基準を体系的に組み込むことに、よりいっそうコミットしていきます。当社は、環境面や関連する社会的リスクや機会に対する各企業の統治能力は、企業の業績に影響する可能性があると考えます。さらに、当社は気候変動やその規制により発生するリスクや機会を管理する事が特に重要となり、こういった管理が資本市場の各参加者からますます注目を集めると考えます。

当社は、既に石油・ガス業界における環境面・社会面の価値牽引要素に関するリサーチを発行しています。当社は、この取り組みを継続し、他のセクターに拡大していくつもりです。また、これらの問題の重要性を広く投資家に向けて明らかにするため、当社はポートフォリオ・ストラテジー・レベルでのリサーチも発行しています。

信頼できるリサーチは投資家に影響を及ぼす可能性があり、翻って企業経営者の注意をこれらの問題に向けることができると考えられます。長期的成長に対する気候変動の影響に関する情

報を投資家へ十分に提供するために、当社は以下の事を行います。

- ・ 環境上・社会問題に関する評価内容を拡充します。これが持続可能な発展に向けたビジネス・ケースを確立する上で役立つと予想しています。
- ・ 環境、社会性および企業統治の評価基準を作成し、業界最高の投資リサーチの一環とします。
- ・ 顧客と面会し、当社のリサーチに基づいて問題や傾向について協議を行います。
- ・ 顧客、投資家、およびその他の専門家とともに、ミーティング・セミナーに参加し、またはそれらを開催し、戦略的課題について協議し、業界およびセクター内の市場のトレンドを特定します。

ポリシー：当社は、気候変動、生物学的多様性の保護、および生態系についてのサービスに関連して効率的な市場を確立するための公共ポリシーの選択肢を模索または開発することを目的として、Center for Environmental Markets を設立して資金を提供し、学術機関およびNGOコミュニティのパートナーとともに、独自のリサーチを行います。当社の公共ポリシーに関する観点では、このリサーチから情報を得て形作られることとなります。同時に当社は、自主的措置のみでは、気候変動の問題を解決できないという事を認識しており、温室効果ガス排出量削減に対する有効かつ効率的な当局規制や政策によるアプローチの特定・促進に役立てるため、その他の組織とのパートナーシップを展開する取り組みを行います。ゴールドマン・サックスは、政策立案者や顧客が、主要な課題に関与した啓蒙されるように、ウェブサイトでの掲示、戦略的コミュニケーション、および的を絞った特別活動を通じてこの情報を普及させます。

- ・ 当社は、環境面の問題およびそれに関連する社会的問題の解決を促進するよう、市場がどのように貢献できるかということに重点をおいてリサーチの項目を策定します。
- ・ 当社は、気候変動、生態系活動、および経済発展に関連する諸問題に関して、政策立案者、投資家、および専門家を招いて会議を開催します。
- ・ 当社は、米国、ヨーロッパ、および新興成長市場の顧客や政策立案者を含め、様々な対象に合わせた伝達・支援計画を立案します。
- ・ 当社は、ポリシーに関する文書を作成し広報を行います。

業務の選択とリスク管理：

一般：当社は、業務に関する選択決定をする際に、顧客や潜在的な顧客による環境上の影響および業務を考慮に入れることが重要であると考えます。当社は、環境面で注意を要する地区において産業および農業活動を行う顧客に対し、適切な予防手段を講じる事を奨励します。また、当社は、当事者である当社の顧客が、温室効果ガス排出や環境関連法規の変更による各社の業務上の潜在的影響を含め、環境面での業務上の影響に関して適切な開示を行うことが、当該顧客の利益に適うと考えており、さらに、このような開示を展開することを強く奨励します。

当社は、「赤道原則 (Equator Principles)」が以下に記述する当社の業務に該当することから、

これに定められた一般ガイドラインに従います。「赤道原則」は世界銀行とその民間部門である国際金融公社のポリシーに基づき、プロジェクト・ファイナンスに対する環境上・社会的リスクの特定、評価、および管理を行うための枠組みとして機能します。当社は、資金の用途が環境に被害を及ぼす可能性のあるプロジェクト用であることが明らかになり、また、ゴールドマン・サックスが主幹事会社またはアレンジャーである場合、当該一般ガイドラインを債券および株式の引受案件、貸付の開始、および投資銀行部門のアドバイザー案件に適用する事を考えています。

- 当社は、環境面で注意が必要であり、現状維持が求められる特定の限定的区域における産業活動に対するファイナンスまたは投資に対する明確な禁止事項を採用します。ゴールドマン・サックスは、資金の用途が重要な自然の棲息環境ⁱを大幅に転換したり悪化させたりする場合、プロジェクトへのファイナンスや融資は行いません。さらに、当社は世界遺産の現場での資源採取プロジェクトや商業的伐採があることを知った場合、ファイナンスは行いません。ⁱⁱ
- ゴールドマン・サックスは、その高い保護的価値が危険に晒されている森林でのプロジェクトについて、その森林の保護や、軽度で伐採を行わない森林資源の利用に関わるファイナンスに限定するようにしています。ⁱⁱⁱ
- 当社は、ファイナンスの可能性評価に使用するため、主要な環境上の課題に関するデュー・ディリジェンス手続きを策定します。
- ゴールドマン・サックスは、伐採や林産品業界へのファイナンスを実行するにあたっては、森林の保護価値を最大に保全するように努めます。保護価値の高い森林に影響を与える森林プロジェクトに対するファイナンスについては、森林管理協議会（Forest Stewardship Council : FSC）、またはこれと同等の認証を推奨します。この点、未だ認証されていない業務については、信頼できる専門家に当社の顧客を紹介し、厳格で時間制限を設けた段階的アプローチを設定して認証を達成するように努めます。
- 当社は、不法伐採に共謀するか故意に関与する企業またはプロジェクトであることを知った場合、それらに対するファイナンスは行いません。^{iv} 当社のデュー・ディリジェンスにおいて、当社がそのプロセスを指示するか、またはこれに影響を及ぼすようなポジションにある場合、顧客が、高リスク国^vからの木材製品の加工、購入、または取引を行うのであれば、木材が法的に問題の無いソースから来ることを確実にする認証可能なシステムを整備しているかどうか調べます。デュー・ディリジェンスには、その業務やモニタリングに関し顧客代表者との協議が含まれ、また、不法伐採に関しては、保管証明で遡ることができるシステムを使用しているかどうか（例えば、FSCが管理している木材規格）が含まれます。そのようなデュー・ディリジェンスの結果は、当該顧客に対するファイナンスに関与するかどうかを当社が決定する上で重要な要素になります。
- 当社は、いずれの国においても、そこで法律として制定されている国際的環境協定に違反するプロジェクトに対するファイナンスは行いません。法律として制定されていなくても、国際的環境協定がその国で法的効力を持つ場合も同様です。
- 当社は、適宜、環境問題と業務に関して社員向けトレーニングを実施します。当社は、トレーニング・セッションを開発し、詳細な情報を得て判断できるように、必要なツールを

提供します。

先住民: ゴールドマン・サックスは、先住民のアイデンティティおよび文化が、彼らが住む土地や彼らが依存している天然資源に、密接不可分にリンクしているという事を認識しています。伝統的に保有、占有、または使用されている彼らの土地や領土に影響する問題について、当社はこれらコミュニティの権利を認識しています。当社は、先住民区域に対するプロジェクトのファイナンスを実行するにあたっては、事前に情報を与えられた自由な協議の結果、影響を受ける先住民がプロジェクトを支持する場合に限る事が好ましいと考えます。当社は、必要に応じ、プロジェクトのスポンサーまたは借手が以下の事を確実に立証することを目指します。

i) 既存の慣習的な協議手法に基づき協議されていること、ii) 地方自治体または中央政府が、影響を受けるコミュニティに対し、代表選出、協議、または、クレーム陳述のためのメカニズムを提供していること、さらに、iii) 適用法令が遵守されていること。

当社のマーチャント・バンキング部門が試みる未公開株式投資: 当社の未公開株式投資グループは、環境面で注意を要する業界の各企業に対する直接投資について、同部門の投資決定プロセスの一環として、引き続き環境評価を実行します。この評価プロセスでは、当社の将来的な投資対象会社（ポートフォリオ企業）の環境法令および規則についてのコンプライアンス状況を分析します。環境評価のプロセスは、当社の未公開株式投資グループによる各企業やその経営陣に対するデュー・ディリジェンスの不可欠な項目となっています。

ポートフォリオ企業に投資を行った後は、取締役への就任がある場合はそれを通じるなどして、当社の未公開株式グループが、ポートフォリオ企業の環境面でのコンプライアンスの課題に関する運営状態をモニターします。

実施: 当社の環境ポリシーは、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクとその過半数保有の子会社に適用され、オフィス・オブ・コーポレート・シティズンシップが調整・監督し、直接エグゼクティブ・オフィスに報告されます。オフィス・オブ・コーポレート・シティズンシップは、ゴールドマン・サックスが環境問題をより良く管理し、把握するため、環境問題に関する当社の様々な業務に対するガイドラインを提供し、トレーニングを開発し、さまざまなステークホルダーと関係を持ちます。ポリシーの実施については、当社の該当する各事業部が直接的責任を負います。当社のアニュアル・レポートおよびウェブサイトを通じて、毎年、当社の進捗状況を報告します。

この環境ポリシーとその実施状況は、取締役会において毎年レビューされます。

当社は、環境ポリシーを策定するにあたり、様々な組織および専門家との協議を行っています。当社は、引き続き、環境問題やその影響に対する理解を深め、そのような問題に対応する上で積極的貢献を行う潜在的機会を特定するべく、このような組織、専門化との連携を今後も継続し、また定期的に当社のステークホルダーとの協議を進めていきます。

i 重要な自然の棲息環境とは以下の通りです。

i) 既存の保護地区および、政府が公式に保護地区として提案した地区、（例えば、国際自然保

護連合[IUCN] の分類による評価基準を満たす保護地区)、伝統的に地域コミュニティにより保護されてきたと認知された地域(例えば、神聖な木立)、および(環境評価プロセスで決定するように)これら保護地区の実現可能性のために重要な条件を維持する場所。または

ii) 世界銀行または、IFCの環境整備部門が決定した信頼できる情報源を基に作成される、補足リストで特定された場所。そのような場所には、伝統的地域コミュニティが認知している地域(例えば、神聖な木立)、生物学的多様性の保護に極めて相応しい事がわかっている地域、および、稀少な、脆弱な、移住性を持つ、または絶滅が危惧される種にとって重要な場所。リストは、種の豊富さ、構成する種の固有性の度合い、希少性、および脆弱性、代表的特性、および生態系プロセスの完全性などの要素に対する系統立った評価に基づいています。

ii) 現在、自然および文化的価値に対して加盟国が指名し、独立した検討委員会が選定した世界遺産は788箇所あります。

iii) 本ポリシーを実行するに際し、当社は保護活動に携わる主要グループである、Wye River Process、および世界銀行の Critical Forest Areas から指導を受けます。当社のポリシーには、以下の保護的価値が含まれます：稀少な固有種で、危険が迫っている絶滅危惧種、脆弱な状態にあるか、または危険に直面した文化的地域を有する、法的に保護された場所および森林。

iv) 不法伐採とは、不法な伐採を防止しようとする地域条例および国の法律に違反して樹木を伐採することをいいます。不法伐採には、以下が含まれます。 a) 森林に近づくために賄賂など不法手段を利用すること。 b) 無許可での、あるいは法的権限の無い地区での伐採、および c) 規制を上回り、あるいは正式に認可を受けた森林管理計画に違反して、保護種を切断し樹木を伐採すること。不法伐採に関連する問題は、生物多様性条約など国際協定による方法などで取り上げられていますが、不法伐採は依然として国際法の対象となっておりません。

v) 世界銀行、世界野生生物基金などが、不法伐採に関するデータを発表しています。ゴールドマン・サックスにおいて、高リスク国とは、年間不法伐採量が50%を上回る国です。